

あいち福祉ネット研修会報告

平成 23 年 7 月 17 日 (日)
第 1 回在宅医療に取り組む医師に学ぶ「在宅で看取る」為の要件とは～
安心して納得のいく最期を支えるために
内科伊藤医院 伊藤光保医師

今回、このテーマはケアマネの業務を行うなかで私が理想と考えていた事であり、今後病院で亡くなることができなくなるであろう状況が来ることなど、とても興味深い勉強会に参加させていただきました。

まず、伊藤医師のような在宅医療に熱心に取り組んでくださっている医師がおられることに大変心強く感じました。



- 「在宅で看取る」には
①家族 本人の覚悟があり
②信頼できる在宅医療があり
③介護と医療が連携していく事

様々な状況がある為、簡単な事ではないと思いました。

今私たちにできることは、当事者に寄り添い、家族の声を聞き多職種との連携、協働体制を取っていくことが大切だと思いました。

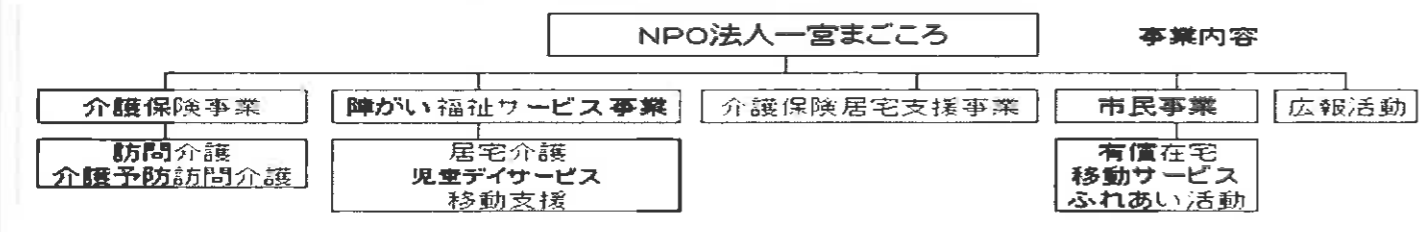
(ケアマネ 武保直美)

あいち福祉ネット研修会日程

第 2 回 9 月 11 日(日) 三つ葉クリニック
医師 中村俊介氏

第 3 回 10 月 13 日(木) キャンパス名古屋
看護師 富士恵美子氏

Table with columns for membership numbers, activities, and financial data. Includes sub-headers for '市民事業' and '介護保険'.



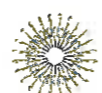
9 月の定例会

日程 平成 23 年 9 月 4 日(日)
救急救命講習会 9:00~12:00
一宮消防本部に直接お越しください



8 月の予定

- 1 日 (月) 会報「まごころ」発行
2 日 (火) ミニデイサービス
3 日 (水) サービス提供責任者会議
4 日 (木) ふれあいサロン
7 日 (日) 定例会
9 日 (火) ミニデイサービス
10 日 (水) サービス提供責任者会議
11 日 (木) ふれあいサロン
16 日 (火) ミニデイサービス休み
17 日 (水) サービス提供責任者会議
18 日 (木) ふれあいサロン
23 日 (火) ミニデイサービス
24 日 (水) サービス提供責任者会議
25 日 (木) ふれあいサロン
27 日 (土) わかってちょうよ認知症講演会
30 日 (火) ミニデイサービス
31 日 (水) サービス提供責任者会議



まごころ

暑中お見舞い申し上げます



平成 23 年盛夏

特定非営利活動法人一宮まごころ

〒491-0041 一宮市文京 1 丁目 4-6
電話 0586-73-8707 Fax 0586-73-8870
E-mail magokoro@plum.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.npo-magokoro.jp
NPO 法人まごころ児童デイ事業所
〒491-0023 一宮市赤見 4 丁目 2-4
電話 0586-25-2667 Fax 0586-25-2668
E-mail magokorojidou@plum.ocn.ne.jp

東日本大震災の復興支援にまごころ代表が参加

一宮防災ボランティアネットワーク主催の復興支援 (7 月 21 日(木)~24 日(日)) で宮城県仙台市の東に位置する七ヶ浜周辺のボランティア活動に参加致しました。

7 月、8 月、9 月にそれぞれ 1 回 20 名を派遣する活動の 1 回目でした。今回、参加した目的は 3 つありました。

- ① 支援センターの管理を学ぶ
② 復興の作業に協力する
③ 七ヶ浜周辺の介護施設を訪問する
① については、ボランティアセンターで地元のリーダーが計画に沿ってボランティアを割り振ります。(写真イ、ロ) 必要な機材は他のスタッフが貸し出します。そして作業が終了すれば地図に印が付けられます。(写真ハ)
② については住宅街の側溝の泥の排除と松林の清掃及び枯れた松の撤去 (写真二)
しかし、海岸には冷蔵庫やコンテナなどが散乱しており、まだまだ支援が必要な状況です。(写真ホ)
③ については隣接する「あさひ園」(七ヶ浜障害者地域活動支援センター) を訪問させていただきました。(写真ニ)

地震当日はみなさん園内で過ごされていて被害は幸運にもなかったようです。またこの地が高台にあったので津波の被害も受けなかったそうです。

今は障害児童も受け入れておられますが、当時は障害児童も避難所で過ごされたそうです。

継続支援が大切

現在では 421 被災者家族の方々全員が仮設住宅に移られました。七ヶ浜のボランティアセンターには毎日 100 名~200 名のボランティアが活動しており、ボランティアの為にかき氷等を振舞って頂き、逆に支援して頂きました。地域の方々から支援に対し感謝のお言葉をたくさん頂きました。

最終日、活動した浜辺にて参加者全員で黙祷。犠牲者の冥福をお祈りし、今回の教訓が今後に活かされることを願いつつ現地を後にしました。一宮からの支援の継続を期待しています。

イ (ボランティアセンター内部)



ロ (作業の指示を出す様子)



ハ (作業が終われば印が付きま)



ニ (松林での作業)



ホ (冷蔵庫内にはあの日の食材が)



ヘ (あさひ園の建物)

